

森山大道写真展

北海道－第2章 / 展開

DAIDO MORIYAMA Exhibition

HOKKAIDO - Vol.2/Expansion

19 February - 29 March Higashikawa Bunka Gallery

2010年2月19日|金|－3月29日|月|

写真の町 ひがしかわ

東川町文化ギャラリー

開館時間：10:00－17:30(最終日15:00まで) 休館日：期間中無休

入館料：町外200円・町内100円(中学生以下無料)

主催：東川町・東川町写真の町実行委員会・札幌宮の森美術館

協賛：札幌パルコ 協力：一般財団法人 森山大道写真財団 株式会社六書堂

企画：CAPSS(NPO 法人芸術文化事業支援機構)

会場：東川町文化ギャラリー 北海道上川郡東川町町1丁目19-8 Phone 0166-82-4700

Photo DAIDO MORIYAMA

DAIDO MORIYAMA

Exhibition HOKKAIDO - Vol.2 / Expansion

森山大道写真展 北海道 - 第2章 / 展開

僕は北海道が好きだ、などというよりも、

僕にとって北海道はおそらく終生変わることのない「我が愛」なのである。「犬の記憶」より

商業デザイナーを経て、写真家・岩宮武二や細江英公のアシスタントを務めていた森山大道が、フリーの写真家としてデビューしたのは1963年のことでした。カメラ雑誌などを中心に発表された粒子の粗いハイコントラストの表現は「アレ、ブレ、ボケ」と形容され、当時の日本の写真界に大きな衝撃をもたらします。最初期の代表作「にっぽん劇場写真帖」(68年)や、写真とは何かをラディカルなまでに追求した問題作「写真よさようなら」(72年)は、今も日本写真史に残る傑作写真集のひとつに数えられています。その森山が「写真よ...」以降に味わった「写真との肉離れ」状態から、なんとか脱け出したいと自ら計画した78年初夏の札幌滞在。そこには田本研造ら北方写真師たちによって残された道内開拓初期の膨大な記録、写真群への思いがありました。

あたかも鋭いカミソリの刃でいていねいに切り裂がしてきたかのような一枚一枚の写真は、事物が出来事が風景が、むしろ人間も、その時その場所に確かにあった時間と光の一瞬を止めて、その一切が白と黒とのグラデーションに石化されてしまったかのようなだった。そしてそれらの写真は無名性(アノニマス)に根ざしているがゆえに、かえって対象を見据える撮影者の個の視線がストレートに直感されてくるころがあった。旧い一連のその写真群は、写真集などを通して見たばかりに、懐かしいというよりも、むしろ新しいイメージとなって語りかけてくるものがあり、以来ぼくの内部(なか)に長く住みつくようになってしまった。

「犬の記憶 終章」より



30年以上の時を経てついに公開された森山大道の北海道。大部の写真集に加え、道内各地を会場ごとに異なる構成で巡る本展は大きな話題となりました。序章に続くこの第2章では、デジタル・カメラによる最新のカラー作品もまじえ、「北海道」そして「Daido World」の魅力の核心に迫ります。

森山大道 略年譜

1938年大阪生まれ 写真家・岩宮武二、細江英公のアシスタントを経て63年フリーのカメラマンとなる。67年カメラ毎日に発表した一連の能人シリーズが評価され日本写真批評家協会新人賞を受賞。68年写真集「にっぽん劇場写真帖」発表。69年から5年間アサヒカメラで連載を持つ。また朝日ジャーナル、太陽、デザイン等に精力的に写真を発表。72年写真集「写真よさようなら」発表。80年オーストリア、グラーツほかで初の海外個展を開催。82年アサヒカメラで「犬の記憶」の連載開始。写真集「光と影」を発表。83年日本写真協会年度賞を受賞。85年フィラデルフィア美術館(ペンシルバニア)ほかで開催されたBLACK SUN:THE EYES OF FOUR展に出品。93年写真集「Daido hysteric」を発表。ニューヨークで森山大道写真展を開催。96年パリで森山大道写真展を開催。サンフランシスコ近代美術館、メトロポリタン美術館(ニューヨーク)などで回顧展を開催。03年毎日芸術賞受賞。カルティエ財団現代美術館(パリ)で個展を開催。鳥根県立美術館、剣路芸術館、川崎市民ミュージアムで「光の狩人 森山大道 1965-2003」展を開催。04年ドイツ写真家協会賞受賞。06年から北海道教育大学特任教授を勤める。写真集「記録 No.6」を発表。07年ヨーロッパ各地を巡回する「森山大道回顧展 1965・現在」展を開催。札幌宮の森美術館で「森山大道写真展《記録/記憶》」展を開催。08年東京都写真美術館で回顧展と新作展を開催。写真集「北海道」を発表。09年NHKテレビが「犬の記憶〜森山大道・写真への度」を制作、放映。「森山大道写真展《北海道 序章》」を札幌はじめ道内各地で開催。写真集「NORTHERN」発表。写真集「北海道」が写真の会賞を受賞。

【関連イベント】

■ 森山大道アーティスト・トーク ※事前申し込みが必要です(定員50名)

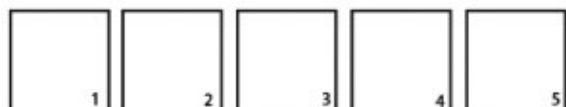
日時:3月14日(日)13:30ー 聞き手:長澤章生
会場:東川町文化ギャラリー 展示室 参加費:無料(観覧会入場料は必要です)
申込み方法:2月1日(月)から受付開始 住所・氏名・連絡先をお電話 FAXにてお申込みください
Phone 0166-82-4700 FAX 0166-82-4704
※この事業は、厚生労働省の委託事業である「地域雇用創造推進事業」の一環として実施されます

■ 森山大道 映像上映

会期中、東川町文化ギャラリー特設スペースにて、森山大道の魅力に迫る3作品を上映します。
＜上映作品＞「光と影」(2009年,60分)「北海道」(2009年,60分)「北海道・東川特別バージョン」

森山大道写真展 スタンプラリー②北海道を回ろう2010

3会場でもれなくポストカード一枚 さらに5会場全てを回られた方に抽選で20名様にサイン入りポストカードをプレゼント



2010年森山大道写真展＜第2章＞開催予定
6月11日(金)ー9月26日(日) 札幌宮の森美術館
小樽運河プラザ、小樽文学館、札幌パルコ 他



All Photographs © DAIDO MORIYAMA

■ 開館時間 / 10:00-17:30 (展示最終日のみ15:00まで
※展示期間中は無休
■ 入館料 / 町内1人100円・町外1人200円
(中学生以下無料)
〒071-1423 北海道土川郡東川町東町1丁目19-8
Phone 0166-82-4700 FAX 0166-82-4704

■ アクセス

JR 旭川駅から 旭川電気軌道バス60番・東川線
(1時間に1本運行)
JR 旭川駅前乗車→約35分→道草館前下車 徒歩3分
旭川空港から タクシーで約15分



写真の町 **ひがしかわ**
東川町文化ギャラリー
<http://town.higashikawa.hokkaido.jp>

森山大道写真展 北海道・第2章 / 展開の各会場の情報、
関連イベントは札幌宮の森美術館 WEB サイトをご覧ください
www.miyanomori-art.jp



Photo © hajime sawatari